

報道関係者各位

2017年9月29日
慶應義塾大学 SFC 研究所
鹿児島県長島町
広島県神石高原町

【全国初】長島町と神石高原町にて「地域おこし研究員」が就任。
10月2日、慶應義塾大学 SFC・長島町・神石高原町にて、遠隔での共同発表を実施
—「地域おこし研究員」は、大学からの遠隔・対面での助言・支援と、
広域連携のもと、長島町と神石高原町に資する研究開発を推進します—

長島町(鹿児島県、町長：川添健)と**神石高原町**(広島県、町長：入江嘉則)において、2017年10月1日、**全国で初めて「地域おこし研究員」が就任**し、活動を開始します(長島町・神石高原町 各1名)。

「地域おこし研究員」は、慶應義塾大学 SFC 研究所(社会イノベーション・ラボ、代表：玉村雅敏)・長島町・神石高原町・三条市(新潟県)・釜石市(岩手県)・鹿児島相互信用金庫(鹿児島県)などが**共同で提唱・推進**するもので、総務省「地域おこし協力隊」や「復興支援員」の制度、自治体・企業・団体の独自制度等を活用し、**地域の現場で実践的な研究活動を行う慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス**(以下、SFC)の**大学院生**(進学希望者を含む)等を対象に、自治体・企業・団体の選考により任用されるものです。

2017年2月13日に締結した、SFCと長島町による「地方創生に関する連携協力協定」を契機に、全国の自治体等に「地域おこし研究員」の共同推進を呼びかけてきましたが、このたび、10月1日、長島町と神石高原町にて、その第1号として、2名の大学院生が就任し、活動を開始します。

「地域おこし研究員」の推進時には、**広域連携による相乗効果**も想定しているため、その活動開始日となる10月2日(月)に、テレビ会議システムを用いた、**遠隔での共同発表イベント**を実施します。

1. 長島町と神石高原町における「地域おこし研究員」

長島町と神石高原町の「地域おこし研究員」は、総務省「地域おこし協力隊」制度を活用し、地域に在住しながら、地域の地方創生に資する実践的な研究活動を行う、SFCの大学院生等を、自治体にて任用するものです。(※「地域おこし研究員」は通称であり、「地域おこし協力隊」制度によるものです)

長島町で「地域おこし研究員」の活動を開始する太田良冠氏は、2016年2月より、長島町の地域おこし協力隊として活動をしてきましたが、2017年度秋学期より、SFCの大学院政策・メディア研究科修士課程にも入学し、「地域商社」の実践として、**長島町の一次生産現場から出る「廃棄食材」の利活用に関する、生産者と料理人、消費者によるコミュニティの確立と効果の検証**に取り組みます。

神石高原町で「地域おこし研究員」の活動を開始する貫洞聖彦氏は、2017年4月より、大学院政策・メディア研究科修士課程にて研究開発に従事してきましたが、神石高原町による公募に応募し、2017年10月1日より、神石高原町の地域おこし協力隊に就任します。「**神石高原町の地方創生のための高校魅力化+(プラス)プロジェクト**」推進に伴う連絡調整を担いながら、大学院での助言・支援を受けながら、神石高原町に資する研究開発プロジェクトに取り組みます。

2. SFC・長島町・神石高原町による、遠隔での「地域おこし研究員」共同発表イベント

10月2日、SFC・長島町・神石高原町をテレビ会議システムでつなぎ、遠隔での「地域おこし研究員」の共同発表イベントを行います。

日時： 2017年10月2日(月)午前11:30~12:00

場所： 長島町「長島大陸Nセンター」(長島町役場4階：鹿児島県出水郡長島町鷹巣1875番地1)

神石高原町「油木山村開発センター」(広島県神石郡神石高原町油木乙1857)

慶應義塾大学 SFC「大会議室」(湘南藤沢キャンパスα館4階：神奈川県藤沢市遠藤5322)

出席者：長島町 川添 健(長島町 町長)

(予定) 土井 隆(長島町 地方創生統括監)

太田良冠(長島町 地域おこし研究員、大学院政策・メディア研究科修士課程)

神石高原町 入江嘉則(神石高原町 町長)

貫洞聖彦(神石高原町 地域おこし研究員、大学院政策・メディア研究科修士課程)

SFC 玉村雅敏(慶應義塾大学総合政策学部教授、SFC 研究所社会イノベーション・ラボ代表)

(参考1) 地域おこし研究者とは？

慶應義塾大学 SFC 研究所 (社会イノベーション・ラボ)・長島町・神石高原町・三条市 (新潟県)・釜石市 (岩手県)・鹿児島相互信用金庫 (鹿児島県) などが共同で提唱・推進するもので、総務省「地域おこし協力隊」や「復興支援員」の制度、自治体・企業・団体の独自制度等を活用し、地域の現場で実践的な研究活動を行う SFC の大学院生 (進学希望者を含む) 等を対象に、自治体・企業・団体の選考により任用されるものです。(※自治体等の選考と、政策・メディア研究科の入学試験は連動しません)

「地域おこし研究者」は、SFC からの遠隔と対面での研究指導・支援のもと、地域に新機軸を実現するテーマを設定して活動します。地方創生の実学を推進しながら、地域が抱える課題を、多様な主体の協働や連携を実現することで、共に解決することを目指します。

SFC では、大学院政策・メディア研究科 (社会イノベータコース) にて、遠隔と対面の助言や研究指導を行い、実践的な研究成果を達成できるように支援します。また、各種の講義や演習を Eラーニングやビデオ会議のシステムを用いて、遠隔受講できるようにすることや、現地での実践的な研究活動を行いながら学ぶからこそ、効果的に学習できる授業設計を行います。

「地域おこし研究者」は、SFC の大学院生 (修士課程・博士課程) の活動を想定していますが、自治体・企業・団体との調整のもとで、SFC の総合政策学部・環境情報学部の学生が大学院レベルの研究活動をすることや、専門性をお持ちの方が専門性を活かした立場で研究活動をすることも可能です。また、自治体等によっては、大学院生等になる前に、地域おこし協力隊等として活動することも可能です。(参考：地域おこし研究者 Web サイト <http://si.sfc.keio.ac.jp/si-researcher/>)

(参考2) 「地域おこし研究者」を募集する自治体・企業・団体 (2017年9月29日現在)

自治体・企業・団体	研究テーマ (例)
長島町 (鹿児島県)	「地域商社プロジェクト」「食×地方創生」、その他
神石高原町 (広島県)	「神石高原町の地方創生のための高校魅力化+ (プラス) プロジェクト」、その他
三条市 (新潟県)	「三条市スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト」「スポーツまちづくり」、その他
釜石市 (岩手県)	復興まちづくりとラグビーワールドカップ開催を活かした、「オープンシティ釜石」と「社会イノベーション」を加速させる研究開発
鹿児島相互信用金庫 (鹿児島県)	実践型研究所「そうしん地域おこし研究所」を拠点に「地域おこし×CSV」の研究開発
高校魅力化プロジェクト	高校魅力化プロジェクト (担当：藤岡慎二氏) による調整を通じて、「地域おこし研究者」の展開地域を設定 ※高校魅力化プロジェクトの展開地域：北海道利尻町・北海道羽幌町天売島・福島県只見町・新潟県阿賀町・長野県白馬村・岡山県和気町・広島県大崎上島町・大阪府能勢町・熊本県甲佐町・沖縄県今帰仁村・沖縄県久米島町など (状況によって変更の可能性あり)

(参考3) 「地方創生に関する連携協力協定」等について

「地域おこし研究者」は、SFC との「地方創生に関する連携協力協定」等のもとで推進しています。

<協定・覚書の締結日>

長島町と SFC (※1)： 2017年2月13日

神石高原町と SFC (※1)：2017年8月1日

三条市と SFC (※1)： 2017年8月9日

釜石市と SFC (※1)： 2017年8月21日

鹿児島相互信用金庫と SFC (※2)： 2017年8月23日

(※1) 総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科、SFC 研究所と「地方創生に関する連携協力協定」を締結

(※2) SFC 研究所と「地域おこしに関する研究開発の連携協力に係る覚書」を締結

<本件に関する問い合わせ先>

- 鹿児島県長島町 地方創生担当 (電話) 0996-86-1111 (担当：町口)
- 神石高原町 まちづくり推進課 (電話) 0847-89-3332 (担当：矢川)
- 慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ (電話) 03-4590-0444 (E-Mail) si-lab@sfc.keio.ac.jp (担当：菅井・稲垣)